

市会議案第17号

オンライン投票の環境整備を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和2年10月5日提出

吹田市議会議員 橋本 潤

同 澤田 直己

同 藤木 栄亮

オンライン投票の環境整備を求める意見書（案）

インターネットの普及率は、情報通信技術の発達とともに上昇している。総務省の調査では、平成30年（2018年）における個人のインターネット利用率は79.8%となっており、インターネットの利用は国民の日常生活の中に広く浸透している。

これまでの国の取組については、平成13年（2001年）にe-Japan戦略を策定し、平成25年（2013年）の世界最先端IT国家創造宣言を経て、令和元年（2019年）には情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律に基づき、デジタル・ガバメント実行計画を策定しており、行政手続のオンライン化やデジタル化を強力に推進している。

一方で、選挙においては、いまだに投票所に出向いた上で、投票用紙に記載して投票することが原則とされており、開票作業についても、多くの自治体が深夜まで手作業で集計しているのが現状である。

現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、国を挙げて新しい生活様式への移行を進めている状況であり、投票所での感染拡大を防止するためにも、オンラインを活用した投票環境を整備する必要性はこれまで以上に高まっている。

よって、本市議会は政府及び国会に対し、オンラインを活用した投票環境の整備に向けた具体的な議論を進め、セキュリティ面の諸課題の解消にも努めた上で、オンラインでの投票環境を整備するよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年10月 日

吹 田 市 議 会